

Land Use Change and Land Cover Fragmentation in Peri-Urban Area as a Result of Uncontrolled Sprawl: A Case Study of Greater Cairo, Egypt

ムハンマド, サリム, サイド, ムハンマド

<https://hdl.handle.net/2324/4474916>

出版情報 : 九州大学, 2020, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	Muhammad Salem Said Muhammad
論文名	Land Use Change and Land Cover Fragmentation in Peri-Urban Area as a Result of Uncontrolled Sprawl: A Case Study of Greater Cairo, Egypt (制御不能な市街地拡張による都市周辺地域の土地利用変化と土地被覆の断片化：エジプトカイロ都市圏の事例研究)
論文調査委員	主査 九州大学 准教授 鶴崎直樹 副査 九州大学 准教授 Divigalpitiya Prasanna 副査 九州大学 教授 三谷泰浩

論文審査の結果の要旨

エジプトのカイロ都市圏は多くの都市問題と対峙し、特に総面積の約35%を占有する市街地周辺地域では農用地を無秩序に侵食する不法居住地区が出現しており、この地域の環境改善が求められているが改善計画のための統計情報や関連データは乏しく研究成果も限られている。このような背景のもと本論文は、この制御困難な不法居住地区拡大による急速な土地利用変化について、関連資料の分析と複数時点の衛星画像を用いた解析等により、政策的背景と課題、土地利用の変容実態、主要要因を明らかにしたものであり、これらの知見は、今後のカイロ都市圏のみならず発展途上国の都市計画に対する有益な示唆を与えるとともに都市計画学に貢献する成果であると言える。

よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。